

高浜市やきものの里かわら美術館・図書館

指定管理者候補者選定結果

「高浜市やきものの里かわら美術館・図書館」の運営を来年度から開始するにあたり、指定管理期間を令和5年4月1日からの5年間として指定管理者を公募した結果、1団体から応募があり、選定評価委員会を開催し候補者を選定しました。

指定管理者候補者選定結果を以下のとおりお知らせします。

1. 施設名

高浜市やきものの里かわら美術館・図書館

2. 指定管理者候補者

名称 かわら美術館・図書館運営共同事業体

所在地 高浜市青木町九丁目6番地18

代表者 代表構成団体 株式会社乃村工藝社

構成団体 株式会社図書流通センター、株式会社NTTファシリティーズ 東海支店

3. 選定の経過

(1) 募集要項の配布 令和4年7月4日(月)～7月20日(水)

(2) 現地説明会開催 令和4年7月14日(木)

(3) 申請受付 令和4年8月1日(月)～8月19日(金)

(4) 第1回指定管理者選定評価委員会開催 令和4年6月27日(月)

(5) 第2回指定管理者選定評価委員会開催 令和4年9月2日(金)

4. 選定理由

「高浜市やきものの里かわら美術館・図書館審査基準」に基づき、運営方針、運営体制、事業計画、収支予算等評価項目により採点を行った結果、美術館と図書館のそれぞれの強みを生かして郷土の学びに深みを出せる、また、安定した運営が期待できるとして、900点満点中729点の評価が得られたため。(※選定基準は満点の6割以上)

5. その他

今後、高浜市議会での議決を経て指定管理者として指定を行います。

高浜市やきもの里かわら美術館・図書館指定管理者選定評価委員会（集計表）

評価項目		配点	評点	割合	
1 運営方針 (20点)	管理運営の理念や基本方針について	30点	26	86.7%	
	学芸員・司書の役割や専門性の活用について	30点	28	93.3%	
	利用者の平等な利用の確保及びサービス向上に対する考え方について	30点	26	86.7%	
	利用者等の意見を運営に反映させる仕組みについて	30点	25	83.3%	
小 計		120点	105	87.5%	
2 運営体制 (20点)	施設の運営体制の基本となる考え方について	30点	25	83.3%	
	管理運営を安定して行う人員、その他経営能力について	30点	24	80.0%	
	有資格者を含む職員の効率的・効果的な配置や職員確保に対する考え方について	30点	25	83.3%	
	施設保守を行う体制について	30点	26	86.7%	
小 計		120点	100	83.3%	
3 事業計画 (75点)	基本事項	美術館・図書館事業の基本的な考え方について	30点	26	86.7%
	自主事業 (事業提案)	自主事業に対する基本となる考え方について	60点	50	83.3%
		展覧会活動、読書活動、研究活動を通し、「ひととまちを育む場」として、市民の交流を考えられているか	60点	49	81.7%
		「まなびの成果や知識等を活かせる場」として、まなびが循環する機会の創出が考えられているか	60点	47	78.3%
		複合化・集約化のメリットが発揮される運営が考えられているか	60点	46	76.7%
		市民・地域団体・企業・瓦業界・学校ほか、関係機関との連携や広報活動について考えられているか	60点	50	83.3%
	貸館事業	貸館業務についての基本方針と利用率アップのための取組みについて	30点	22	73.3%
	維持管理 業務	維持管理業務についての基本方針について	30点	26	86.7%
		業務実績と維持管理の技術について	30点	26	86.7%
		安定的・効果的な施設管理と経費縮減の取組みについて	30点	25	83.3%
小 計		450点	367	81.6%	
4 収支予算 (20点)	美術館・図書館の適切な維持及び管理に係る経費の節減が図られるものであること	60点	41	68.3%	
	収支予算計画が適正であるか 事業計画、配置職員等と整合がとれているか	60点	39	65.0%	
小 計		120点	80	66.7%	
5 その他 (15点)	個人情報の適切な管理について。情報公開、文書公開について	30点	25	83.3%	
	環境への配慮について。危機管理について	30点	26	86.7%	
	地域貢献、社会的弱者への配慮について	30点	26	86.7%	
小 計		90点	77	85.6%	
合 計		900点	729	81.0%	

高浜市やきものの里かわら美術館・図書館
指定管理者選定評価委員会 所感

※1～5は評価項目を示す

1 運営方針

- ・経験のある指定管理者であり、今後は運営一体化という視点の強化を期待する。
- ・施設の強みをいかし、既存概念にとらわれることなく、まずは市民にとってより身近な生涯学習施設を目指されたい。

2 運営体制

- ・一体化して事業を行うことの効果が出せる組織体制と人員配置を望む。

3 事業計画

- ・事業の連携、共同企画のみでなく、本質的な美術館・図書館の連携に取り組み、全国初になるような成果を出してほしい。
- ・新しいスタイルを生み出すうえでの発想の転換は必須と思われる。美術館と図書館が寄り添う形で未来がひらけるよう努力していただきたい。
- ・「目指す姿」をしっかりと達成できるように高浜市のもつ魅力を最大限に活用することを期待する。
- ・貸出冊数を増やすというような目標でなく、施設やその周辺が活用されるような工夫を期待する。
- ・市民ボランティアの積極的な活用を期待する。
- ・学校司書との連携等、学校とのつながりに期待する。
- ・美術館と図書館のそれぞれの強みを生かすことで、子どもたちの郷土の学びに深みを出せると考える。

4 収支予算

- ・指定管理料については市と十分協議され予算計上に臨まれたい。
- ・運営の仕組みが変わることによる経費増と、一体化、効率化による経費減の部分を事業者・市当局ともに精査されたい。
- ・事業収入（歳入）はもっと高く目標を掲げてほしい。
- ・予算の内容に伴った事業とし、低下することのないようにしてほしい。

5 その他

- ・事業者同士、市と指定管理者、それぞれ企画会議等を定期的に実施し連携を進めてほしい。